

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|----------------------------|----|-----------|
| ○事業所名 | ペラペラENGLISHBOOTCAMP | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年 5月 1日 ～ 2025年 7月 31日 | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 14 | (回答者数) 10 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年 5月 1日 ～ 2025年 5月 31日 | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 7 | (回答者数) 7 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 8月 31日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|---------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| 1 | 英語を取り入れた療育 英語を取り入れたプログラムを実施し、子どもたちが生き生きと楽しく活動できる環境を整えている。自然に英語に触れることで、言葉への興味や表現力も広がっている。 | カウンセラーによる面談 専門のカウンセラーによる面談を通じて、子どもや保護者の気持ちに寄り添い、安心できる支援体制を構築している。 | 面談内容のさらなる活用 カウンセラー面談で得られた情報を支援計画に反映し、よりきめ細やかな支援につなげる。 |
| 2 | 地域とのつながり 公園や美術館など地域資源を活用し、社会体験や多様な活動を取り入れている。 | 保護者との連携 面談や日々のフィードバックを重視し、家庭と協力しながら子どもの成長を支援している。 | 職員研修・スキルアップ 発達支援や心理的サポートに関する研修を充実させ、職員の専門性をさらに高める。 |
| 3 | | 一人ひとりに応じた支援 子どもの発達段階や特性を踏まえた個別支援を実施し、安心して自己表現ができるよう支えている。 | 記録・評価の充実 面談記録や活動記録を体系的にまとめ、エビデンスに基づいた支援を実施していく。 |

| | 事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 1 | 英語を取り入れた療育は子どもたちの意欲につながっているが、発達段階により理解度や関心に差があるため、活動内容の調整が課題となっている。 | 忙しい日常業務の中で、支援記録の分析や保護者支援に十分な時間を確保しにくい。 | 記録のICT化や定期的な振り返りを行い、支援計画や次の活動に活かせる体制を整える。 |
| 2 | 地域との交流は一定程度行っているものの、さらなる幅広い連携の機会が求められる。 | 定期面談でのフィードバック 子どもの変化を個別にフィードバックし、保護者が成長を実感できるよう具体的な事例を伝える。 | 外出活動や行事については年間計画を立て、実施後の振り返りを職員間で行い次につなげる。 |
| 3 | 英語を取り入れた活動の価値や子どもの変化を、家庭にわかりやすく伝える仕組みが弱い。 | 保護者アンケートの実施 「家庭でどんな変化を感じたか」を聞き取り、事業所からの伝え方に改善点を取り入れる。 | 定例の職員ミーティングやケース検討を充実させ、支援の方向性をチームで統一する。 |